

杉原ウィーク2026・第27回杉原千畝記念短歌大会作品選考結果

(学生の部)

人道大賞	平和とは何なのかを考えてぬるいスープを一口すする	山田朔叶	八百津町立八百津中学校2年
------	--------------------------	------	---------------

(一般の部)

人道大賞	シェルターになる日があつてはならぬもの手すり冷たく地下鉄へ下る	井田寿一	滋賀県東近江市
------	---------------------------------	------	---------

(小学生の部)

	句	氏名	学校
愛賞	ケンカして「ごめん」で終われるぼくたちに国境線はまだむずかしい	井原 彪	加古川市立氷丘南小学校6年
愛賞	オリオンからのしゃしん地きゆうぎとちがい国ごとの色わけなかった	西多晃都	鴻巣市立鴻巣中央小学校3年
心賞	鉄砲のおもちやで遊ぶ弟よそれを武器って知ってるかい？	金子らな	八百津町立八百津小学校6年
心賞	小さいなかわいいあゆだはねるけどあゆのじんせいとてもみじかい	本田佳純	郡上市立大和小学校4年
勇気賞	戦争でなくなる命とうといかそんなことない切ないだけだ	吉田優笑	八百津町立錦津小学校6年
勇気賞	虹の色 混ざり合うほどあざやかに消さずにいたい君のその色	諸田真奈	秦野市立南小学校6年
佳作	生まれ場所言葉の違いあるけれど胸に響くは同じく鼓動 ^{リズム}	渡邊懼真	八百津町立和知小学校6年
佳作	自分だけよければそれでいいのかな周りを見ると皆 ^{みな} にらみ顔	奥村 文	美濃加茂市立三和小学校6年
佳作	消しゴムであらそいごとを消しちゃってやさしさのペンでぬりつぶしたい	中西禾帆	延岡市立旭小学校6年
佳作	友達とたくさん遊びへとへとだこれも平和の一つなんだな	臼田 有	八百津町立八百津小学校6年
佳作	せんそうはだれがしたくてしているのみんなかなしいきもちになるのに	佐合 侑	八百津町立和知小学校2年
奨励賞	庭に咲くデイジー見つめ思い馳せ戦地でも花咲いていますか	出口みる	山都町立矢部小学校6年
奨励賞	お互いに撃った凶器が触れ合って明日は笑うと信じているよ	深田結心	延岡市立旭小学校5年
奨励賞	爆弾を一つおとすと人と町消えていくけど記憶は残ってる	山本大夢	八百津町立和知小学校6年
奨励賞	命とはむげんに続くものじゃないそんな命をむだにしないで	清水香希	八百津町立和知小学校5年
奨励賞	やさしさはこころのたねだひろがってへいわのはながせかいにさくよ	生田羽蘭	八百津町立和知小学校3年
奨励賞	ぼくがかつてるいきものたちかわいいよみんな生きてるだいじにするよ	伊佐治拓歩	八百津町立久田見小学校2年
奨励賞	あったかいふとんの中でねむれているぼく戦争ではねむれない	野田來楓	八百津町立錦津小学校5年
奨励賞	ホーホケキョうぐいすの声おもしろいつかあいたいあいたいうぐいす	松本 優	郡上市立大和小学校2年
奨励賞	植物が静かに揺れる草の音耳をすませば花や葉の音	桑田悠正	郡上市立大和小学校4年
奨励賞	長良川綺麗なお家鮎の部屋美しいのが自分の気持ち	木島颯優	郡上市立大和小学校4年
奨励賞	朝起きて毎日おはよう笑顔でねあたり前でもあたり前じゃない	玉木紫野	郡上市立大和小学校6年
奨励賞	悲しいよみんななくなるきえちゃうよ孤独になって死んでしまうよ	森栗唯月	八百津町立八百津小学校5年
奨励賞	校庭でひとりぼっちの友だちに声かけあそぶ人になりたい	井戸美琴	八百津町立八百津小学校3年
奨励賞	ランドセルゆらして進む帰り道また明日ねと言える幸せ	横山心音	八百津町立錦津小学校6年

(中学生の部)

	句	氏名	学校
愛賞	命とは誰かの明日を照らすもの思いやるたび平和は生まれる	岩井楽桜	八百津町立八百津中学校1年
愛賞	大嫌いな人には死ねと言えるのに僕らは偽善の中で生きてる	森田光咲	広島県立広島中学校2年
心賞	誰にでも愛する人が待っている武器を持たずにそばで生きたい	馬場朝日	長島町立鷹巣中学校1年
心賞	むけるのは銃ではなくてあたたかい小さな命見つめる瞳	山崎美音	長島町立鷹巣中学校1年
勇気賞	晴れの日には雨が滴り桜の葉ゆっくりと舞う命のように	濱田美音	尼崎市立中央中学校1年
勇気賞	教科書で見る白黒の戦場が今の世界にカラーで映る	後藤雅翔	美濃加茂市立東中学校1年
佳作	猛暑の日体育終わりに吹いた風誰かが開けてくれた窓から	横田倫太郎	福山市立一ツ橋中学校3年
佳作	戦闘機作られていたこの場所は公園となり子がかかる	篠 賢之介	学校法人成城中学校1年
佳作	ありがとうそのひとことが胸に咲きふれた優しさ花のような日	井上和奏	銀河学院中学校2年
佳作	グーじゃなくパーで包もうピースな世界だれも負けないあいこな関係	増井煌太	学校法人三重中学校2年
佳作	ほどけた靴結び直すを待つ背中急かさぬ距離がぼくのきずな	鈴木柚那	学校法人三重中学校1年
奨励賞	戦争のこと気にするだけでこわくなり考えることなくスマホにもどる	山本菜月	美濃加茂市立東中学校1年
奨励賞	黒板の寄せ書き消せば明日からはただの四角い緑に戻る	松本朱友明	八百津町立八百津東部中学校2年
奨励賞	ゲームでは負けてリトライ大人たちリトライがない大戦争だ	間瀬綾里	福山市立一ツ橋中学校3年
奨励賞	もし仮に明日と言う日が来ないなら今日という日を大事にできるか	前田珀虎	福山市立一ツ橋中学校3年
奨励賞	雨の中傘分けた友その日から少しずつ距離近くなってく	内田このん	銀河学院中学校2年
奨励賞	「大丈夫」差しのべる手を掴みとり共に踏み出す夏の体育館	和田梨々心	銀河学院中学校2年
奨励賞	当たり前そう呼ぶ日々の眩しさを守り抜きたい青空の下		学校法人三重中学校2年
奨励賞	意外にさ脆いんだよね命って潰える人々ガラスのように	谷口紗也花	美濃加茂市立東中学校1年
奨励賞	平和のはときみは簡単に殺しても本当にいいか本当にいいのか	才田凜太郎	学校法人成城中学校1年
奨励賞	仲直りしたい気持ちと同じだけ言いたいことが消えてくれない	中尾啓志	学校法人成城中学校1年
奨励賞	満員の電車で苦しむ妊婦さん気持ちだけでも手助けをする	山田理矩	学校法人成城中学校1年
奨励賞	強がってまた言い返すふと気づくあたたかい手そばにあること	内藤煌葵	学校法人三重中学校1年
奨励賞	わかち合おう数えきれない価値観を戦争なんてしないでさ	西井琴音	学校法人三重中学校1年
奨励賞	ふざけ合い笑い転げるこの今を奪う権利が誰にあるのか	堤 祐登	学校法人三重中学校2年
奨励賞	人間は戦争用の武器じゃない自分の夢を叶える命だ	山本優奈	学校法人三重中学校2年

(高校生の部)

	句	氏名	学校
愛賞	初めての靖国詣で遺書を読む余白に滲む十七の夏	子安史洋	愛知県立瑞陵高等学校2年
愛賞	争いのない日を知らない空の下それでも花はやさしく咲くよ	齋藤倅羽	中央国際高校2年
心賞	死は急に実体を持つ明日もまだ平穏のままあってほしくて	野中 葵	佐野日本大学高等学校3年
心賞	こわいけど目の前の人を助けたいそれだけがいいそれだけでいい	平岡咲起	岐阜県立羽島高校3年
勇気賞	命とは誰かの願いの続きだと母の寝顔にふと思い知る	大橋愛桜	愛知県立瑞陵高等学校3年
勇気賞	花びらが川へ落ちて流れゆく命はいつも誰かへ続く	岩下愛美菜	愛知県立犬山高等学校2年
佳作	諦める勇気を知った帰り道何も言わざるあなたのぬくもり	香月蒼空	佐賀県立致遠館高等学校3年
佳作	ほんとうに辛い過去だけ抱え込みひとは黙したまま眠りにつく	高祖祐花	岡山県立岡山朝日高等学校3年
佳作	争いに勝ちたい気持ちみな同じ終わらせたいの彼らも同じ	村上拳進	岐阜県立羽島高校2年
佳作	ほんとはね気付いていたの友達の悪いところと流される自分	中野日和	愛知県立犬山高等学校2年
佳作	失敗の痛みを学ぶわが日々を癒やすはいつも何気ない日々	吉武李玖	愛知県立犬山高等学校2年
奨励賞	公園のベンチの横のあの花は君の街では見られないのか	江沢娃香	愛知県立瑞陵高等学校3年
奨励賞	爆弾の一つで壊れた明日はね誰もあると思っていた	鈴木彩羅	愛知県立瑞陵高等学校3年
奨励賞	AIとドローンのあるこの今に技術の行く先「愛」の意味を問ふ	木村颯真	愛知県立瑞陵高等学校3年
奨励賞	失った命は二度と戻らない奪うことは簡単なのに	西山大慍	岐阜県立加茂高等学校3年
奨励賞	自分には関係ないと思ってた見上げる空は同じはずなのに	古山夏帆	神戸市立須磨翔風高等学校2年
奨励賞	一瞬で破壊していくミサイルを打つたびに降る誰かの涙	栗本来夢	岐阜県立羽島高校2年
奨励賞	熊被害よく耳にする問題だ熊が死なずに過ごせる町を	谷口稜起	愛知県立犬山高等学校2年
奨励賞	学校の友と出ていく門の外平和な道が続いてほしい	浅野溪斗	愛知県立瑞陵高等学校2年
奨励賞	世界中ともに見上げる同じ空きつと繋がる同じ人類	浅井桃音	愛知県立瑞陵高等学校3年
奨励賞	「大丈夫？」相手を気遣うその言葉めぐって自分を助けてくれる	佐野遥陽	愛知県立瑞陵高等学校3年
奨励賞	特別なことはなくても放課後の並んだ影が少し長い日	平松菜々穂	愛知県立瑞陵高等学校3年
奨励賞	上を向き歩いていれば明日にも空の模様の博士になれる	宇山 龍	神奈川県立光陵高等学校2年
奨励賞	戦場に投下されたる兵士たち一人一人に帰る場所あり	林琉己亜	岐阜県立羽島高校1年
奨励賞	優しさは人の数だけ違いがあるあなたの善意押しつけじゃない？	早坂杏美	愛知県立犬山高等学校2年
奨励賞	都合良き八絃一字改めて平和を築く国とぞならん	國立遥暉	愛知県立瑞陵高等学校2年
奨励賞	君が見るその英雄は正しいか視点変えると誰かの加害者	金城小雪	愛知県立瑞陵高等学校2年

(一般の部)〔大学生を含む〕

	句	氏名	住所
愛賞	「戦時なら君らは出征する年齢」途端に教室モノクロになる	村井敬子	愛知県一宮市
愛賞	戦争をスマホの枠で知る僕ら焦げた臭いも飢えも知らない	増田浩二	静岡県焼津市
心賞	少年の父が飯炊く終戦日かあさん死んでおとうと死んだ	藤本ちどり	愛媛県今治市
心賞	罪のない人の命を奪う手は誰かを救う手だったかもしれない	宮田和沙	中京大学3年
勇気賞	一、二、三……百七十の子の命AI誤爆で済ませし米軍	大賀康男	愛媛県新居浜市
勇気賞	ビスケット食めば戦地に英軍の其を鹵獲せし日本兵顛つ	西尾嘉浩	岐阜県中津川市
佳作	特攻に一度は桿 ^{かん} を握りたる手今はその手で孫抱く喜び	松野基晴	佐賀県佐賀市
佳作	名も知らぬ命が消えてまた朝が何もなかったように始まる	岡田晃大	就実大学2年
佳作	意図せずに育ってしまったさみしさをあなたが好きなカレーに溶かす	小西弘晃	東京都杉並区
佳作	戦争の対義語として子どもらが空へと歌う終わらない歌	秋吉和紀	大阪府箕面市
佳作	「だるまさんがころんだ～」とふり向けば戦争迫る春のゆふぐれ	新井よね子	東京都江戸川区
奨励賞	戦場にいない人らで決められる停戦再開停戦再開	日隈嵩介	国際医療福祉大学6年
奨励賞	笑顔消えはしゃぐ声すら灰になる当たり前の日戻らないまま	三好葵葉	就実大学2年
奨励賞	鳥の名を持つ自衛官は誰のため国歌を歌ひしやモール揺らせて	福田正人	京都府京田辺市
奨励賞	空爆の映像止めれば黒い画面無傷の顔がこちらを見てる	サエ	岐阜大学1年
奨励賞	強き国望みはせぬぞ九条を傍えに置いて玉葱さざむ	熊崎佐千子	岐阜県岐阜市
奨励賞	ガソリンの高値のみにてホルムズの戦火案ずる我を卑しむ	西尾房子	岐阜県中津川市
奨励賞	戦時中学徒動員に酷使せし指を曾孫の頬に触れをり	中村重義	福岡県北九州市
奨励賞	野良仕事の苞にとホホヅキ忍ばせし母の竹籠のなかの追憶	与那嶺栄子	沖縄県豊見城市
奨励賞	吹く風に桜の花びら舞い散るを追う少年に銃は持たせぬ	横山美保子	岐阜県飛騨市
奨励賞	トマホーク学校着弾突然に「誤射」で片付く命の軽さ	神藤友海	神奈川県相模原市
奨励賞	千の子に千の母あり戦場へ子を遣 ^や る旗は決して振れぬ	稲山博司	東京都練馬区
奨励賞	銃口を向ける先にも家族あり兵士となった父親二人	山野邊棕	東京科学大学2年
奨励賞	くりかえし映し出される戦争よ生き証人の叫びのように	細田富士	神奈川県泰野市
奨励賞	送り来し母の小包のこま結び母の真心切らずに解きにき	竹中明子	岐阜県揖斐川町
奨励賞	言葉とはここを秘めた深き海ことばを武器にしないで下さい	久保澄子	栃木県那須塩原市
奨励賞	剣よりもペンよりもただ曖昧な抑止としての笑顔がほしい	齊藤航希	沖縄県那覇市
奨励賞	父のこと何も知らずに育ったと母は死ぬまで戦争嫌う	野田 悟	新潟県佐渡市
奨励賞	平凡な日々に別れは突然にぼたりと落ちる椿のように	西野みどり	岩手県盛岡市
奨励賞	戦火被う地球は今も青いですかアストロノートよコスモノートよ	大塚雅之	岐阜県関市
奨励賞	「未亡人」と戦後差別の名を負いしままに百四の母は逝きたり	中村佐世子	愛知県岡崎市
奨励賞	人間の最後の息は呼気といふ借りてた空気宇宙に帰す	貝塚 勇	茨城県土浦市
奨励賞	戦争を見てきた父の双眼鏡いまカワセミは水面を突いた	田原宣仁	岐阜県各務原市
奨励賞	痩せし児の頭にたかるガザの蠅その一匹が瞼を舐むる	鈴木年春	愛知県小牧市

(学校賞)

学校賞	八百津町立八百津中学校
奨励賞	学校法人三重中学校
奨励賞	愛知県立犬山高等学校

(町内学校優秀賞)
(小学生の部)

	句	氏名	学校
八百津小学校	黒い雨いつきに消える青い空その一瞬で命を落とす	岩井里紗	八百津町立八百津小学校6年
八百津小学校	先生と遊ぶマンカラカラハ楽しいなこんな時間が続くといいな	井戸美織	八百津町立八百津小学校5年
八百津小学校	戦争の歴史を学び日常の命を守る平和な明日	古瀬由奈	八百津町立八百津小学校4年
和知小学校	人はみなおんなじなのにきずつけるせかいのみんなかなしんでいる	齊藤大和	八百津町立和知小学校5年
和知小学校	戦争がある世の中が当たり前だからつくろう幸せな国	武市有央	八百津町立和知小学校4年
和知小学校	こんなにも幸せなのは当たり前だと思ってた私はバカだ	乗原椎衣	八百津町立和知小学校5年
錦津小学校	いつもの平和があたりまえじゃないんだ戦争でないてる人もいる	市岡駿一	八百津町立錦津小学校5年
錦津小学校	いのちがねかおを出したようれしいなわたしがいるのも母のおかげ	末近灯子	八百津町立錦津小学校3年
錦津小学校	一時の命をかけた戦いを心の中で灯し続ける	安藤怜良	八百津町立錦津小学校6年
久田見小学校	青空にトランペットのひびく音遠くの国までとどけ平和へ	山田結斗	八百津町立久田見小学校6年
久田見小学校	せんそうでおわったときおもいだすこわかったことつらかったこと	瀬戸英人	八百津町立久田見小学校4年

(中学生の部)

	句	氏名	学校
八百津中学校	「また明日」その短い字に込められた生きて会おうの見えない約束	有本未来	八百津町立八百津中学校3年
八百津中学校	歴史をね学ぶと心痛むんだ戦争の上の平和を生きる	吉田桜子	八百津町立八百津中学校3年
八百津中学校	消えそうな誰かの痛み守る手に未来はそっと息を吹き込む	岩井陽葵	八百津町立八百津中学校1年
八百津中学校	愛爆弾ボタン一つであの子へと闇を消しさる兵器がほしい	川合美遥	八百津町立八百津中学校2年
八百津東部中学校	続かないラリーを笑うなつはじめネットをはさむぼくら一年	大野碧馬	八百津町立八百津東部中学校1年